

三春の教育情報ステーション

● 三春町教育研究発表会のお知らせ

平成 28 年度の「三春町教育研究発表会」を 2 月 15 日（水）午後 3 時から、三春交流館「まほらホール」で開催します。本町の小・中学校や教職員が日々研修に取り組んでいる成果を発表します。

今年度、学校教育研究会 A グループは「ユニバーサルデザインの考えを生かした授業づくり～みんなが分かる、できる授業づくり～」、B グループは「幼保小のスムーズな接続を目指したスタートカリキュラム・アプローチカリキュラムづくり」の研究の実践について発表します。

また、三春中学校を中心に取り組んでいる「スーパー食育スクール」の取り組みについての発表もあります。町民の皆さんも、ぜひご参加ください。

● 岩江中学校・三春中学校で研究発表が行われました

昨年の 11 月 18 日、岩江中学校において、福島県教育委員会道德教育総合支援事業「道德教育研究会」が行われました。「こころ豊かに、たくましく、共に成長できる生徒の育成～道德性を高め道德的実践を視野に入れた取り組み～」を研究主題に、学年ごとに授業を行いました。

三春中学校では、12 月 9 日に、文部科学省指定「スーパー食育スクール事業」公開授業研究会（取組テーマ：震災後の食生活・運動習慣の変化と食育を通じた生活習慣の改善）、19 日に「放射線教育推進事業実践協力校」公開授業研究会（研究テーマ：放射線を正しく理解し、三春中の今を発信できる生徒の育成）が行われました。それぞれの研究会で、生徒たちが意欲的に学んでいる姿を参観者の方々に見ていただくことができました。



教育トピックス

我が校の教育 NOW

三春中学校編

三春中学校では、昨年度から文部科学省より「スーパー食育スクール事業」の指定を受け、食に関する研究を進めています。

県内の児童・生徒は、東日本大震災に伴う原発事故の影響により、屋外での活動が制限されるなど、体力の低下・運動不足により肥満傾向が続いていました。本事業では、こういった傾向を改善するために、生徒一人ひとりの活動量を消費エネルギーとしてデータ化し、「食に関するアンケート」から生活のリズムと食生活をリンクさせ、個々の問題を洗い出し課題意識を持たせました。

さらに、自分に必要な食事の量を消費エネルギーに見合った量にするために、学校給食を基準の目安量として提供するなど、食習慣の改善を行ってきました。学習の場としては、総合学習を中心に、保健体育科・家庭科・学級会活動の時間を利用して食育を進めています。

昨年の 12 月 9 日の公開授業では「バランスのとれた食生活」を課題に、個々の活動量と消費量をもとに、自らの食生活と生活習慣を見直す授業を公開しました。現在では、食育に加え、保健体育科の授業に「ダンス」を採り入れ、運動量を十分確保できるような取組も実践しています。

また、県教育委員会より「放射線教育推進支援事業」の実践協力校にも指定され、「放射線を正しく理解し、三春中の今を発信できる生徒の育成」をテーマに実践を重ねてきました。

事業については、1 年生を対象に、理科・保健体育科・社会科の時間に外部講師を招いたり、実際に校地内の放射線量を測定したりするなどして、放射線に関する基礎的な知識を身に付けました。その知識をもとに、三春の現状を発信するため、総合学習の時間に一人ひとりがレポートにまとめ発表しました。生徒が作成したレポートは県環創造センターに展示され、県内外に発信する予定になっています。

12 月 19 日の公開授業では、1 年生が研究の成果を 3 年生に発表しました。3 年生の質問に 1 年生が丁寧に答えていく様子など、学習の成果を多くの皆さんに見ていただくことができました。

両事業とも、教科の枠を越えた教科横断的な学習です。様々な角度からものごとを考えることができ、学習効果を上げていきます。



地域の子どもは地域みんなで育てましょう！

問い合わせ先 教育課 学校教育グループ ☎ 62-6310、FAX62-6000